IPPO IPPO NIPPON プロジェクト 能登半島支援 寄附ご協力のお願い

全国の経済同友会は「IPPO IPPO NIPPON プロジェクト 能登半島支援」を立ち上げました。このプロジェクトは東日本大震災や熊本地震の経験を活かし、ご賛同いただいた企業や個人からお預かりした寄附金を被災地の人づくりや経済活性化に役立てるプラットフォームを築くものです。主に地場産業の将来を担う若者を育てる専門高校への支援を想定しています。金沢経済同友会や石川県教育委員会の協力の下、今、支援を必要とする学校現場にきめ細かく確実に届ける努力をしていきたいと考えています。

つきましては、本プロジェクトの趣旨をご理解いただき、皆さまの善意のご厚志・ご支援を心よりお願いいたします。

IPPO IPPO NIPPON プロジェクト
能登半島支援 運営委員会

共同委員長 加藤　博　中部経済同友会 代表幹事
永井 靖二　関西経済同友会 代表幹事
岩井 睦雄　経済同友会 筆頭副代表幹事

■目標額

1,810 万円　※最低限度の目標であり、できる限り多くのご支援をお願いいたします。

■募集活動期間

第３期　2025年10月１日～2026年３月31日

被災地の復興状況を勘案しつつ、人づくりと産業活性化に向けて、真に支援を必要とされる方々にきめ細かく確実に支援をお届けするため、３期にわたり活動を展開しており、第３期をもってプロジェクトは終了となります。

■対象

全国経済同友会、会員・会員所属企業および趣旨に賛同いただける国内外の企業・個人

■寄附方法

本会ホームページ
「能登半島支援活動の活動概要」参照

■寄附金に関する税制優遇措置

「IPPO IPPO NIPPON プロジェクト 能登半島支援」第３期活動に対する寄附金は税制優遇措置が受けられます（法人の場合、全額が損金算入可能）。

■寄附金の使途

運営委員会での決定に基づき、第３期に頂戴した寄附金については、①能登高校（燻煙機、充填機、フードカッター）②飯田高校（平机）③志賀高校（カラーレーザープリンタ）④石川県教育委員会・教育政策課にて実施する支援に充当いたします。

■ロゴマークの供与

寄附に参加いただける企業に対して、「IPPO IPPO NIPPON プロジェクト」ロゴマーク（下記参照）を供与します。別途定める使用約款の範囲内において、各企業の広報・販促活動、商品への貼付などに自由にお使いいただけます。

IPPO IPPO NIPPON プロジェクト

東日本大震災で被災した地域の人々や産業を「一歩一歩」元気にしていこうという趣旨でスタートしました。被災地復興の助けになりたいという、プロジェクト参加企業および個人の思いが込められています。NIPPONというアルファベットの真ん中には、IPPOという言葉が入っています。このIPPOとNIPPONを組み合わせたスローガンです。

IPPO
IPPO
NIPPON
あなたの応援が、
復興への一歩になる。

縦に並んでいる複数の丸は、被災地が復興に向けて、前向きに「一歩一歩」進んでいく様子を表現しています。また、日本全体が一つになって被災地の復興を応援しようという意味を込めて、日本国旗をモチーフにした赤と白の2色を使用しています。

お問い合わせ

IPPO IPPO NIPPON プロジェクト 能登半島支援 運営事務局

〒100－0005　東京都千代田区丸の内１-４-６ 日本工業倶楽部別館５階　公益社団法人経済同友会事務局内
TEL: 03-3284-0316　E-mail: ippo2024@doyukai.or.jp